



第4号
(学年だより)

水の気持ちよさを感じて…

蒸し暑い日が続いています。子どもたちは、タコプールに入ったり、水遊びをしたりして、水に触れる心地よさを感じながら楽しんでいます。

プールでは、ワニやラッコになって泳ぐ姿や、少しだけでも水に顔をつけてみようかと挑戦する姿が見られます。友達が潜ったりバタ足をしたりする姿から刺激を受けて、自分もしてみようとする姿もあります。また、プールで様々に遊ぶ中で、ワニ泳ぎで足が浮くことや水の中だと走りにくいことに気付く様子もありました。

水遊びでは、水鉄砲で高い場所にある的を撃ち落としたり、「花火だ!」と言いながら空に向かって発射したりする中で、友達と一緒にすることを楽しんでいます。砂場での水遊びでは、2、3人で集まって穴を掘り、水を入れていくうちに「みんなでつなげよう!」と、穴と穴をつなげて川を作ろうとする様子がありました。水を流してみると、途中で止まってしまい、どうしたら最後まで流れるのかを考えて、坂になるように深く掘ったり、たくさん水を流したりして考え合う姿が見られました。最後には川に水が流れるようになり、楽しさや達成感を味わっていました。

暑いこの時期に、たくさん水に触れ、心地よさや楽しさを味わうだけでなく、考えたことを様々に試す中で、水の面白さや不思議さを感じたり、水の性質に気付いたりする体験ができるようにしたいと思います。

水に触れる気持ちよさを感じる。

10 豊かな感性と表現

水の性質に気付いたり、自分なりに考えて試したりする。

6 思考力の芽生え

友達と一緒にする楽しさを感じる。

3 協同性



子どもたちの思考力は、周りのものに好奇心をもって自ら関わり、様々なことに気付いたり、考えたりする中で育まれていきます。幼児期の思考力の芽生えは、小学校以降の学習に興味や関心をもって主体的に関わることにつながります。生活や遊びの中で、子どもたちの気付きや好奇心を大切にしていきたいですね。

七夕に向けて

七夕の由来や意味を知り、願いを込めながら、七夕飾りを作りました。年長組は、“扇面つなぎ” “貝つなぎ” “ちょうちん” など、指先の細かい動きが必要な飾りにも挑戦し、折る・切る・貼るなど、一つ一つの工程に丁寧に取り組みました。作り方が分からないときに幼児同士で教え合う姿や、一人ですることが難しい工程では友達を手伝う姿も見られました。短冊作りでは、マーブリング液を水に垂らし、割り箸をひとかきしてできた模様を紙に写し取りました。不思議できれいな模様ができるたびに驚きや喜びの声が上がり、何枚も作る幼児がたくさんいました。

7月5日には4歳児と一緒に七夕集会を行い、七夕の由来のパネルシアターを見たり、みんなで歌を歌ったりしました。ご家庭で短冊に願い事を書いていただき、ありがとうございました。子どもたちやご家族の素敵な願い事が叶うといいですね。



友達に自分の思いを伝え、返事を待ったり聞いたりする。
相手の思いを聞いて、返事をする。

9 言葉による伝え合い

丁寧に、思いをもって取り組む。

2 自立心

10 豊かな感性と表現



“結ぶ”という経験を

短冊や七夕飾りを笹に結ぶ際、こよりを使いました。紐状のものを使って結びつけるということにかなり苦戦をしている子どももいました。日常生活の中で、経験する頻度は多くありませんが、『固結び』ができるような機会がもてるとよいですね。いくつかの七夕飾りを笹に結ぶことで、少しずつ自分でできるようになっていく姿が見られました。

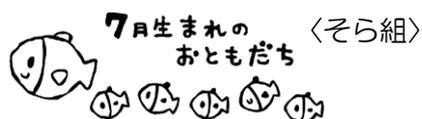
連絡事項

○運動会の参観人数について

10月19日(土)の運動会は、3学年合同で行います。参観者が多いことで、保護者の皆様がお子さんの姿を見にくくなるのが予想されます。そのため、今年度も、お子様1名につき、保護者(中学生以上)2名までと制限させていただきます。

ご理解とご協力をお願いいたします。

おたんじょうび おめでとう



<うみ組>



<うみ組>